

委託業務「長期的な自然現象の確率論的評価手法の高度化」

評価項目一覧

評価項目	評価区分※	評価基準	得点配分			企画書 頁番号
			基礎点※	加点	計	
1. 実施項目(1) 専門家ワークショップの開催			10	30	40	
実施内容及び実施方法	必須	・仕様書に記載した要求事項を実現できる実施内容及び実施方法が、全て具体的に提案されているか。	10	-	40	
	任意	・業務成果を高めるための応札者独自の創意工夫や品質保証方法等が、提案された実施内容及び実施方法に認められるか。 ・本実施項目の実施時に応札者が想定する留意点とその対応策が示されているか。また、対応策の有効性が認められるか。	-	30		
2. 実施項目(2) 確率論的評価の枠組み構築及び手法の体系化			10	30	40	
実施内容及び実施方法	必須	・仕様書に記載した要求事項を実現できる実施内容及び実施方法が、全て具体的に提案されているか。	10	-	40	
	任意	・業務成果を高めるための応札者独自の創意工夫や品質保証方法等が、提案された実施内容及び実施方法に認められるか。 ・本実施項目の実施時に応札者が想定する留意点とその対応策が示されているか。また、対応策の有効性が認められるか。	-	30		
3. 実施項目(3) 確率論的評価に適用する情報等の整備			10	30	40	
実施内容及び実施方法	必須	・仕様書に記載した要求事項を実現できる実施内容及び実施方法が、全て具体的に提案されているか。	10	-	40	
	任意	・業務成果を高めるための応札者独自の創意工夫や品質保証方法等が、提案された実施内容及び実施方法に認められるか。 ・本実施項目の実施時に応札者が想定する留意点とその対応策が示されているか。また、対応策の有効性が認められるか。	-	30		
4. 実施項目(4) 報告書の作成			10	10	20	
実施内容及び実施方法	必須	・仕様書に記載した要求事項を実現できる実施内容及び実施方法が、全て具体的に提案されているか。	10	-	20	
	任意	・業務成果を高めるための応札者独自の創意工夫や品質保証方法等が、提案された実施内容及び実施方法に認められるか。 ・本実施項目の実施時に応札者が想定する留意点とその対応策が示されているか。また、対応策の有効性が認められるか。	-	10		
5. 業務全般			10	30	40	
5.1 実施工程	必須	・全ての実施項目が実施工程に明示されており、それが目的、実施内容、実施方法に対して妥当かつ現実的か。	5	-	15	
	任意	・実施工程に業務効率を高めるための応札者の創意工夫や品質管理の考え方が認められるか。また、その有効性が認められるか。	-	10		
5.2 実施体制	必須	・本委託業務を実施するために、必要な資格や専門性を有する業務従事予定者を配置した実施体制が役割分担を含めて計画されているか。 ・再委託を予定している場合、そのことが実施体制に明示されているか。 ・本委託業務の成果の品質を管理するための方策が示されているか。 ・事業内容(再委託先含む)が、機構の経営理念等に反する恐れがないか。	5	-	15	
	任意	・業務成果を高めるための実施体制であり、その有効性が認められるか。	-	10		
5.3 関連業務実績	必須	-なし-	-	-	10	- 不要 -
	任意	① 応札者は、過去に本業務に関連・類似する業務経験を有しているか。 ② 応札者が選択した最大3件について、関連する内容と何が本業務の実施に有用なのか具体的な理由とともに示されているか。	-	10		
合計			50	130	180	

※: 基礎点が満点を得られない場合は、不合格となる。